

いしがめ通信



Vol.1

1804Z6AY

やってきました深泥池。深泥池水生生物研究会にて毎週日・木曜日調査されていることをHPでチェックしてはいました。先生方3名と文化財保護課の腕章をつけた若人3名が作業されてます。とてもよいお天気でございます。



小屋から2隻ボートをだし、もんどりを二十数力所仕掛けて、1時間後に回収するそうです。

その間、田末先生がハエのような小さな虫を捕まえられ、見せていただきました。珍しい小型ハナアブだそうです。ミツガシワと共に深泥池における氷河時代の生き証人の代表ともいえる生物だと先生の文献にあります。まさしく生きている化石なのだと、、写真撮り忘れる。

そうこうしているうちに、若者がカエルのような緑色のルアーで38cmのブラックバスを釣り上げました。「やっぱりいるんや、でか」じゅんさいいっぱいみられます。



この日は前日の雨で水温が低いらしく、あまり捕獲できなかったようですが、めずらしくいしがめが2匹つかまりました。

いしがめ通信にとって最高のタイミング。

そのほかザリガニ・やご・ちっちゃいゲンゴロウ・鮎の稚魚など。



会のHPより

深泥池展 場所：深泥池会館

5月3日(木)午後～6日(日)午前

深泥池観察会 狐の巣穴の集団、砲台跡などの見学

5月4日(金)13:00～